

# 2025年度 須磨学園夙川中学校入学試験

## 国 語

### 第 3 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

※ 設問の都合上、本文を一部変更している場合があります。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

さつそくですが、読者のみなさんは人工知能というとなんを想像されるでしょうか。たとえば **1** 作品で登場する **テンケイ** 的な人工知能は

- **2** 知 **3** 能で、人間の能力をはるかにしのぐ思考能力を持つたコンピュータ

• 意志を持ち、まるで人間のようにふるまうロボット  
のどちらかであることが多いように思います。このような人工知能は汎用人工知能 (Artificial General Intelligence, AGI) とか、人間同等の能力を持った人工知能 (Human-level AI) 等と呼ばれます。まず最初に断っておかなければならないのですが、現代の最先端の研究をもつてしても、これらの人工知能の実現にはいたっていません。

これは研究者がサボっているからではありません。先に挙げたような、人間の知能を模倣するような機械を作るためには、「知能とは何か?」という問いに、何らかの形で答えられなければなりません。それがとてつもなく難しいのです。

たとえば、「計算とは何か?」という問いには答えられます。例として、 $19 + 28$ を筆算で計算するときのことを思い出してみます。

$$\begin{array}{r} 19 \\ + 28 \\ \hline 47 \end{array}$$

このように、まず1の位を計算 ( $9 + 8 = 17$ ) し、次に10の位を計算 ( $1 + 2 = 3$ ) し、1の位の計算で **イ** た分の1を10の位に足し、答えは  $3 + 17 = 47$  としたわけです。この計算を行うには、

- ノートなどの記録媒体Mと、ペンなどの記録の書きこみ方法Wがあり

• ある決まったルールfに従い、答えが得られる  
ということが保証できれば十分です。重要なのは、M、W、fは何でも良いことです。このように、私達は計算というものを普遍的に定義することができ、この定義にソツたものであれば、ノートやペンを使う必要は必ずしもありません。計算を電気とジキを使って実現した機械がコンピュータです。このように、「Xとは何か」の定義がわかることは、Xを作ることの第一歩です。

残念ながら、現代科学は「知能とは何か?」に対し、このレベルの答えを与えることができません。もちろん、多くの科学者が大変な努力を払ってこの問いに答えようとしていますが、色々な困難があつて決定打がないのが現状です。したがって、ヒツゼン的に知能を人工的に作ることも難しいというわけです。

しかしながら、巷には人工知能を搭載したと謳う製品があふれかえています。これは一体どういうことでしょうか。ここまでの説明から、これらはAGIやHuman-level AIではないことは明らかですが、では、何をもって「人工知能」と称しているのでしょうか。私達の身のまわりにある、人工知能を思わせるような物をいくつか列挙してみると

- 自動で道案内してくれるナビゲーション・システム
- 自動で部屋の温度を調整してくれるエアコン
- 自動で部屋を掃除してくれる自動掃除機

などが挙げられます。これらに共通する性質は、「何らかの仕事を自動で行ってくれる」ということです。そういうわけなので、我々のまわりで実現されている人工知能とは自動化技術の一種と言えます。そうだとすると、単なる自動化と人工知能は何が違うのでしょうか。

それを説明するため、ここでは「迷路を解く」というカンタンな仕事を例に取って考えます。まずは **図2-3** を見てください。黒い部分は壁なので、ロボットがそれを避けてハートにたどり着く仕事を、自動化したいとしましょう。

そのためにはプログラムを考えれば良いでしょう。 **図2-4** のように動作させるプログラムを書いてみると

- もし右上にいる場合、(A) 回左、(B) 回下、に進め

ということになります。ただし、これではスタートする場所が変わった場合に対応できませんから、より楽ちんに自動化するために、 **図2-5** のように各マス目で進むべき方向を指定しておけば良いでしょう。このようにしておけば、どの場所からでも最短距離でゴールにたどり着くことができますね。これで自動化できたような気がしますが、どうでしょうか。

たとえば、別の形の迷路が与えられたとしましょう。それを自動で解けるようにプログラムすることは、同じことをくり返せば可能です。しかし、これでは迷路ごとに毎回プログラムが必要になります。プログラマーが毎回頑張つてプログラムを書かなければならないのは本末転倒でしょう。

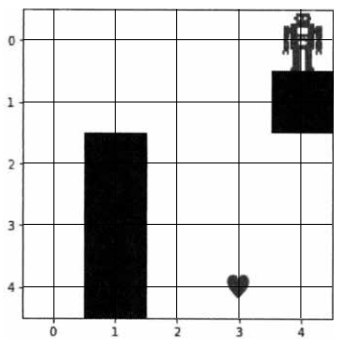


図2-3 解かせたい迷路

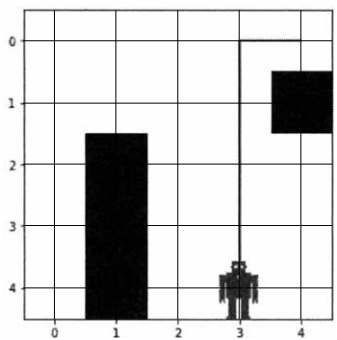


図2-4 迷路を解くロボット

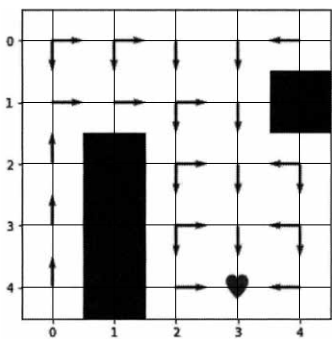


図2-5 迷路を解くための「プログラム」

(田中章詞「人工知能に絵を描かせる方法」／『数理の窓から世界を読みとく』岩波ジュニア新書より)

- 注1 汎用 …… いろいろな目的に使用できるものこと。
- 注2 模倣 …… すでにあるものをまねること。
- 注3 記録媒体 …… 情報を保管しておく入れ物のこと。
- 注4 巷 …… 世間。市中。まちなか。

一の設問

問一 空欄 1、2、3 について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 1 に入る「科学小説」という意味を表す語として適当なものを次から選び、番号で答えなさい。

1 S L    2 S G    3 S F    4 S E    5 S A

(2) 2、3 には同じ一字の漢字が入ります。その漢字を答えなさい。

問二 —— 線部ア「それ」の意味内容として、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「人間の能力をはるかにしのぐ」こと。
- 2 「研究者がサボっている」現状を変えること。
- 3 「人間の知能を模倣する」こと。
- 4 「知能とは何か」という問いに答えること。
- 5 「19+28を筆算で計算する」こと。

問三 空欄 イ に入る表現を五字以内で考えて答えなさい。

問四 —— 線部ウ「このレベルの答えを与えることができません」とありますが、どのようなことを言ったのですか。次の空欄に本文中の五字程度の表現を抜き出して答えなさい。

「知能とは何か」を [ ] できていないということ。

問五 —— 線部エ「そういうわけなので」とありますが、「そういう」の意味内容として、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 人工知能が仕事を自動でしてくれる。
- 2 人工知能を搭載した製品が数多くある。
- 3 人工知能を搭載した製品はほとんどない。
- 4 自動で働く機械を人工知能と称している。
- 5 自動化技術と人工知能は別物である。

問六 —— 線部オ「右上にいる場合、(A) 回左、(B) 回下、に進め」とありますが、(A)、(B) はどのような数値が入りますか。それぞれ算用数字で答えなさい。

問七 —— 線部カ「どの場所からでも最短距離でゴールにたどり着くことができます」とありますが、そのとき、(C) 最も左上のマスからスタートする場合と、(D) 最も左下のマスからスタートする場合は、それぞれ何回の移動をすることになりますか。算用数字で答えなさい。

問八 —— 線部キ「本末転倒でしょう」とありますが、これはどのようなことを言ったのですか。九十字以内で説明しなさい。

問九 ~~~~~線部 a e のカタカナを漢字に直しなさい。

三歳二カ月の娘の花奈を持つ岩見有紗は、東京のお台場にある高層マンションに住んでいます。ある日の夕方、有紗が花奈の砂場用バケツをバルコニーに出すと、その中に入っていたシャベルが強風で吹き飛ばされてしまいました。次の文章はその翌朝にシャベルが無くなっていることに気づいた後の話です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

きつかり十一時十分前に、インターホンが鳴った。「こんにちは、栗原です」

少し掠れた美雨ママの声がした。美雨ママと呼んでいるけれども、栗原という苗字だったと思ひ出す。モニターを覗くと、映るのを知っている美雨ママが、少し澄ましてカメラから離れて立っていた。美雨ちゃんはベビーカーに乗っているのだろう。姿が見えない。「こんにちは。入ってロビーで待っててね。すぐ行きますから」有紗は、「開」のボタンを押した。オートロックドアが開いて、ベビーカーを押した美雨ママが入って来るのが見えた。美雨ママは、いつも着ているユニクロのブルーのダウンベストにジーンズ、やや茶色に染めた長い髪を黒いニット帽に押し込んでいた。細くて背が高いからカッコいいのだが、黒いリュックサックがダサかった。美雨ママは垢抜けない格好をしているし、BTの住人ではない。ママたちがあれこれ試している流行のコスメや服にも興味がない。美雨ちゃんの服もネットオークションとかで安く買っていると聞いた。だから、ケチで貧乏臭い。けれども、いぶママの仲間に入っているのは、顔やスタイルがいいのと、何となくカッコいいところがあるからだ。

たった五人の仲良しグループだが、いぶママと芽玖ママと真恋ママは、BTの中でもBWT族で、夫も一流会社に勤めている。だから、三人はいつも一緒に行動している。対して、この駅前の普通のマンションに住んでいる美雨ママと、BEというランク落ちのタワーの、しかも賃貸の部屋に住む有紗は、何となく一緒にされている感があると思うのは僻みだろうか。「花奈ちゃん、ラウンジ行こうよ」

花奈はまるで決戦に行くように緊張して、親指しゃぶりを始めている。有紗は、花奈の服装を点検した。室内遊びに最適なチョコレイト色の長袖Tシャツの上に、お尻の隠れるサーモンピンクの半袖チュニックを着せている。下は、同じくチョコ色の七分スパッツ。これなら誰にも負けないほど可愛い。

有紗は安心して、自分の姿も玄関の鏡でチェックした。幼い子供のいるママは皆、染みが付いても洗えて、子供を抱き寄せても肌触りのいいように、木綿の服を着る。

「ルールを決めると面倒臭いじゃない。その時は何でもアリ、ってことにしましょうよ」

そう提言したのは、勿論、いぶママだった。とはいえ、いぶママは、ちゃんと人数分の手作りクッキーなんかを持って来てくれる、**b**人間でもある。つまり、いぶママにはあまり隙というものが無いのだった。

有紗は、部屋に鍵を掛け、風の吹き渡る寒い開放廊下を歩いた。開放廊下に折り畳み自転車置いてあるのを見て、眉を顰める。後でパトラに文句を言っつてやろうと思う。その瞬間、風で飛ばされたシャベルのことが頭を過ぎり、ひどく憂鬱になった。住民から吊るし上げを喰らうかもしれないのは、他ならぬ自分なのだった。

有紗は、花奈にエレベーターのボタンを押させて、寒さに震えながら、数分待った。やっと下から上がって来たエレベーターに乗って、ロビーに向かった。そこで美雨ママと合流してBWT側のエレベーターから、ラウンジに向かうことになっている。

BTのエレベーターは、防犯のために、すべて一階に下りるようになっていた。ラウンジのあるフロアに行くには、BWTの居住者でも、一度ホール階まで下がって、それからまたエレベーターでラウンジに行く。従って、途中階から直接上に行くことはできない仕組みだった。タワーズ内に住んでいても、タワーズの中を上り下りしたり、棟から棟へ行ったり来たりするのだから面倒だった。しかも、タワーズ内はオープンスペースも多いから、屋外と同様、寒い。現に、花奈は歯をかちかち鳴らしていた。有紗は、同じ建物内の移動だからと、カーディガンを着せて来なかったことを後悔した。

「ごめん、花奈ちゃん、寒かったね」

花奈は無言で、有紗に引きずられるようにして歩いている。本当は行きたくないのではないかと思うのは、こんな時だった。隅っここのソファで、美雨ママが携帯電話を眺めていた。美雨ちゃんは、ベビーカーで正体をなくして眠っている。

「お待たせ」

有紗と花奈が近付くと、美雨ママは狎みたいに大きな垂れ目を細めた。「先に買い物してたら、寝ちゃったのよ」と、笑いながら美雨ちゃんを指差す。美雨ママは、花奈の顔を覗き込んだ。「花奈ちゃん、夕べの風、怖かったでしょう」

花奈が頷いたが、有紗は花奈の目を見て、質問の意味がわかっていないことを確認する。花奈はその場で適当に頷いてしまふ子だった。「おたく、上なんでしょう。風、平気だった」

一緒に歩きだした美雨ママが、有紗に囁いた。「うん、音がすごくて、眠れなかったわ」

そう答えながら、有紗はドキドキしている。まさか、あのシャベルで誰か怪我でもしてはいないだろうか。「うちの方も看板が飛んだりしたのよ。街路樹も倒れたしね。埋め立て地の風を遮るものがないと怖いわね。ビル風もあるしさ」

「そうそう」と適当に相槌を打った。どうやら一般論で終わらしい。エレベーターが下りて来た。中から、男の子のママたちが集団で降りて来た。皆、BWTの人たちだ。互いに顔見知りなので、目礼する。有紗が先に入って、ラウンジのある五十二階のボタンを押した。エレベーターがずんずん上っていく。

「いぶママに言われたのよ」

美雨ママがぼつりと言った。

「何で言われたの」

「タワーズの中は、なるべくベビーカー押さないで来てねって」

そのことなら聞いていた。最近では、ベビーカーがエレベーターの場所塞ぎになるので自粛しようという話になっているのだそう。ロビーなどの共用部分でも自粛しようとする他のグループもいるのだとか。さっきの男の子のママたちも、ちゃんとベビーカーを畳んでエレベーターに乗っていた。だから、自分もベビーカーを使わずに、花奈を歩かせて来た。美雨ママは首を傾げる。

「それって何か変じゃないかと思ったの」

「だけど、子育てしてない人もいるし、子供がいない人もいるから、仕方ないじゃない。ここは集合住宅なんだから」

「わかるわよ。だけど、ホテルとか商業施設じゃないじゃん。このタワーズって、思いやりなさ過ぎじゃない。ベビーカーが目なら、車椅子はどうなの。共有部分を自粛するということなら、あたしみたいなタワーズを買えない人は来るなって言ってるのと同じだと思ふのよ。あたしが住民じゃないって言うのを知ってる人は、あたしがラウンジ使ったりすると、露骨に嫌がるわよ。悪いけど、さっきの男の子たちのママもそうよ」

美雨ママは、そう言い切つて小さな溜息を吐いた。それは、今朝、有紗の腕の中で、花奈が吐いてみせた溜息にそっくりだった。

そうだろうか。有紗は不安になった。もしかすると、賃貸の部屋に暮らす自分たちもタワーズの余所者なのか、と感じたからだった。「じゃ、美雨ちゃんママは」有紗は思い切つて聞いた。「どうして、このママたちのグループに入ってるの」

「そうね、どうしてかなあ」

美雨ママは、手早く眠っている美雨ちゃんの襟元を直してやりながら首を傾げた。その答えを聞かないうちに、エレベーターは五十二階に着いて、扉が開いた。突き当たりにあるラウンジまでの廊下は、両側が強化ガラスになっていて、景色がよく見える造りになっていた。左にレインボーブリッジ。右にリバーシティ21。あ、私たち中空に浮いている。

有紗は朝の宙ぶらりんな気持ちを出し、髪の毛の生え際に微かに汗を掻いていた。高い所が怖かった。だから、花奈が落ちないようにしっかりと手を繋いでいようと思つたのに、花奈はラウンジ目掛けて、さっさと走って行ってしまった。さっきまで緊張していた癖に、と有紗は花奈の小さな背中を見ながら、置いて行かれたような寂しい気持ちになった。

(桐野夏生「ハピネス」光文社文庫)

注1 B T …… タワーズマンションの一つで、ベイタワーズマンションの通称。ベイイースト・タワー（B E T）とベイウエスト・タワー（B W T）から成る。

注2 いぶママ …… 竹光いぶきの母親である竹光裕美のこと。「二等地」と言われる五十二階建てのベイウエスト・タワーの西南四十七階に住んでいる。

注3 芽玖ママ …… 芽玖の母親のこと。他にも赤ちゃんがいる。注4 真恋ママ …… 真恋の母親のこと。

注5 B W T …… 五十二階建てのタワーズマンションで、ベイウエスト・タワーの通称。

注6 B E T …… 有紗が住んでいるタワーズマンションで、ベイイースト・タワーの通称。

注7 バトラー …… タワーズマンションの従業員で、家事の手伝いなどをする人。

注8 狎 …… 体が小さく、額が飛び出た日本原産の小型犬。物静かで愛らしい。

## 二の設問

問一 ……線部a、空欄b について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) ……線部a「垢抜けない」の本文中での意味として適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 素直な
- 2 清潔な
- 3 はでな
- 4 手軽な
- 5 やばな

(2) 空欄b に入る適当な語を「い・そ・つ・な・の」の五字を組み合わせて作り、答えなさい。

問二 ……線部ア「僻み」とありますが、これはどういうことですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 美雨ママは、顔やスタイルがよく、何となくカッコいいところがあり、仲良しグループに入っているが、有紗にはそのようなところがないと思うこと。
- 2 美雨ママは、駅前の普通のマンションに住んでいるが、三人からはいつもうらやましがられている点があると有紗は思っていること。
- 3 美雨ママは、ケチで貧乏臭く、流行のコスメや服に興味がないのに、五人の仲良しグループの他の三人から好かれているように有紗には見えること。
- 4 有紗は三人と同じB Tに住んでいるのにもかかわらず、駅前の普通のマンションに住んでいる美雨ママと同じくくりにされているように感じることに。
- 5 五人の仲良しグループの他の三人とともに行動したいと思っているが、美雨ママがそのたびに邪魔をしてくるように有紗が感じてしまうこと。

## 問三

……線部イ「花奈は、無言で有紗に引きずられるように歩いて歩いている」とありますが、同じような花奈の思いを有紗が感じていると読み取れる一文を……線部イ以前の本文中から三十字程度で探し、初めの五字と終わりの五字を抜き出して答えなさい。

問四 ……線部ウ「適当に相槌を打った」とありますが、有紗がそのようにしたのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 風で飛ばされたシャベルのことが気になってしまったので、美雨ママの話を適当にしか聞けないから。
- 2 美雨ママがシャベルのことが気がつかないようにするため、無理にでも話をそらしたから。
- 3 シャベルによって怪我をした人がいるはずで、美雨ママにそのことを追及されたくないから。
- 4 シャベルのことについて花奈に口止めをしていることを、美雨ママに気づかれないから。
- 5 美雨ママがいくらマンション付近を探そうとしても、シャベルは見つからないと思いたいから。

問五 ……線部エ「それ」とありますが、その指示する内容を六十字以内で説明しなさい。

問六 ……線部オ「そう言い切って小さな溜息を吐いた」とありますが、このときの美雨ママの気持の説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 タワーズに自分が住んでいないのを知っている人が、予想外に多いことに気がついている。
- 2 タワーズには、自分のことしか考えない人があまりにも多いことに落ち込んでいる。
- 3 タワーズに住んでいない人側に自分が属していることを受け止めざるをえないと思っている。
- 4 タワーズに住んでいる人たちは、縄張り意識が強すぎることを自覚していないと感じている。
- 5 タワーズには、子供がいない人もたくさん訪れてくることを改めて認識している。

問七 ……線部カ「朝の宙ぶらりんな気持ち」とありますが、なぜ有紗はそのような気持ちになったのですか。その理由を説明した次の文の空欄に本文中の十字前後の表現を抜き出して答えなさい。

……がどうなったのか分からないから。

問八 ……線部キ「置いて行かれたような寂しい気持ち」とありますが、なぜ有紗はそのような気持ちになったのですか。その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分自身のわだかまった思いを花奈と共有しているつもりでいたのに、花奈が今朝のことをとくに忘れていることにふと気づいてしまったから。
- 2 自分自身の昨夜からふさぎこんでいる気持ちを花奈は理解してくれていると信じていたのに、自分さえ楽しければよい子なのだと思わされたから。
- 3 自分自身の感じる周囲への引け目を花奈も同じように感じていると思っていたが、人目を気にしない行動にそうではないのだとはつきり分からされたから。
- 4 自分自身の集まりに気が引ける思いを花奈が察してくれているように感じていたが、実際は楽しみにしていたのだとはつきり分かったから。
- 5 自分自身の会合に気乗りしない気持ちは花奈と共通のものだと思っていたが、それは思いこみに過ぎなかったのではないかとふと感じられたから。

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号			

名前	
----	--

## 2025年度 須磨学園夙川中学校 第3回入学試験 解答用紙 国語

※	※								※	※	※	※	※	※	※	一
問九	問八								問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一	(※の欄には、何も記入してはいけません)
e	c	a							C	A					(1)	
	d	b							D	B					(2)	
			90	80	60	40	20									

※

※	※	※	※					※	※	※	※	二
問八	問七	問六	問五					問四	問三	問二	問一	(※の欄には、何も記入してはいけません)
											(1)	
											(2)	
			60	40	20							

※

※

